

第3回放課後学習ラボ

モータースポーツを通じて発達障害を持つ方との 交流を図るイベント

カート体験走行

主催 特定非営利活動法人 Winds Formula Association

場所 ハーバーサーキット木更津アウトドア店

日時 2019年10月26日 土曜日 9:00~12:00

本年も草の根事業育成財団様の助成金(草の根助成金)の交付を受け、昨年続き3回目の放課後学習ラボを今回より名称の変わりましたハーバーサーキット木更津アウトドア店様にて開催しました。

先日までの雨も上がりコースはドライコンディション。10月下旬というのに半袖でも大丈夫なほど良い天候の中、Kart 走行会という形式のイベントを開催させていただきました。

今回はアサヒ飲料株式会社様より『アサヒ十六茶』と『アサヒおいしい水天然水』をご提供いただきました。

協力

公益財団法人草の根事業育成財団
様
特定非営利活動法人峠工房様
アサヒ飲料株式会社様

後援

木更津市



イベント内容

走行はフリー走行。いわゆるレース形式ではなく自由に走行します。まずはKart 走行について、ハーバーサーキット木更津アウトドア店のスタッフ様より説明。ルールを守ればモータースポーツは決して危ないものではありません。



説明が終わると Jr Kart からの走行です。Jr kart は7歳以上且つ身長120cm以上、14歳未満が対象となります。慣れるまではコントロールタワーよりリミッター(速度調節)をかけての走行となります。



Jr kart と大人 kart の混走ができないためクラス分けをしました。



子供たち優先に走行を楽しんでもらいました。だんだん乗りたくなくなるお子様も出てきましたが、少しだけ頑張る事と勇気を出す事を学んでいただけたかなと思います。保護者の方も楽しんでいただき私共が考える「スポーツはまず楽しむこと」を実践していただいたと思います。



総括

都内で発達障害を持つ方は東京都で 8000 人と言われています。

見た目で見えない“発達障害”。だからこそ発達障害を持つ方と他者との関わりを持つ機会を多く持ち、互いに共感を高めることが必要だと考えられます。そこで本年も昨年に続き第 3 回放課後学習ラボを開催しました。

参加者は開催毎に増え、とくにお子様が増えています。

モータースポーツを通じて、前後だけでなく左右にも気をつけないと事故が起こりえるということなどの運転技術を学び、乗車のカートで走行ルールの必要さを実践しました。段々とドライビングテクニックを質問してくるようになる子供もあり「ちゃんと止めて、ちゃんと曲がる」を教えるとなぜ kart の挙動が乱れるか?などこのような高度な質問に回答しつつ放課後学習ラボを終了しました。

今回、モータースポーツを通じて危険を回避する必要性、そして状況に応じて考えを切り替えるという対処の必要さを学びました。

参加者の方の前向きな姿と、出来るはずのことが出来なくなった時に騒がずに他の参加者の体験時を見守ることが出来る柔軟さを知る事ができました。

自分勝手な行動を起こしがちな大人も見習うべきと思いました。そしてもっと子供たち、大人に、興味のある事がみつけられるような機会を作ってあげられると嬉しいです。